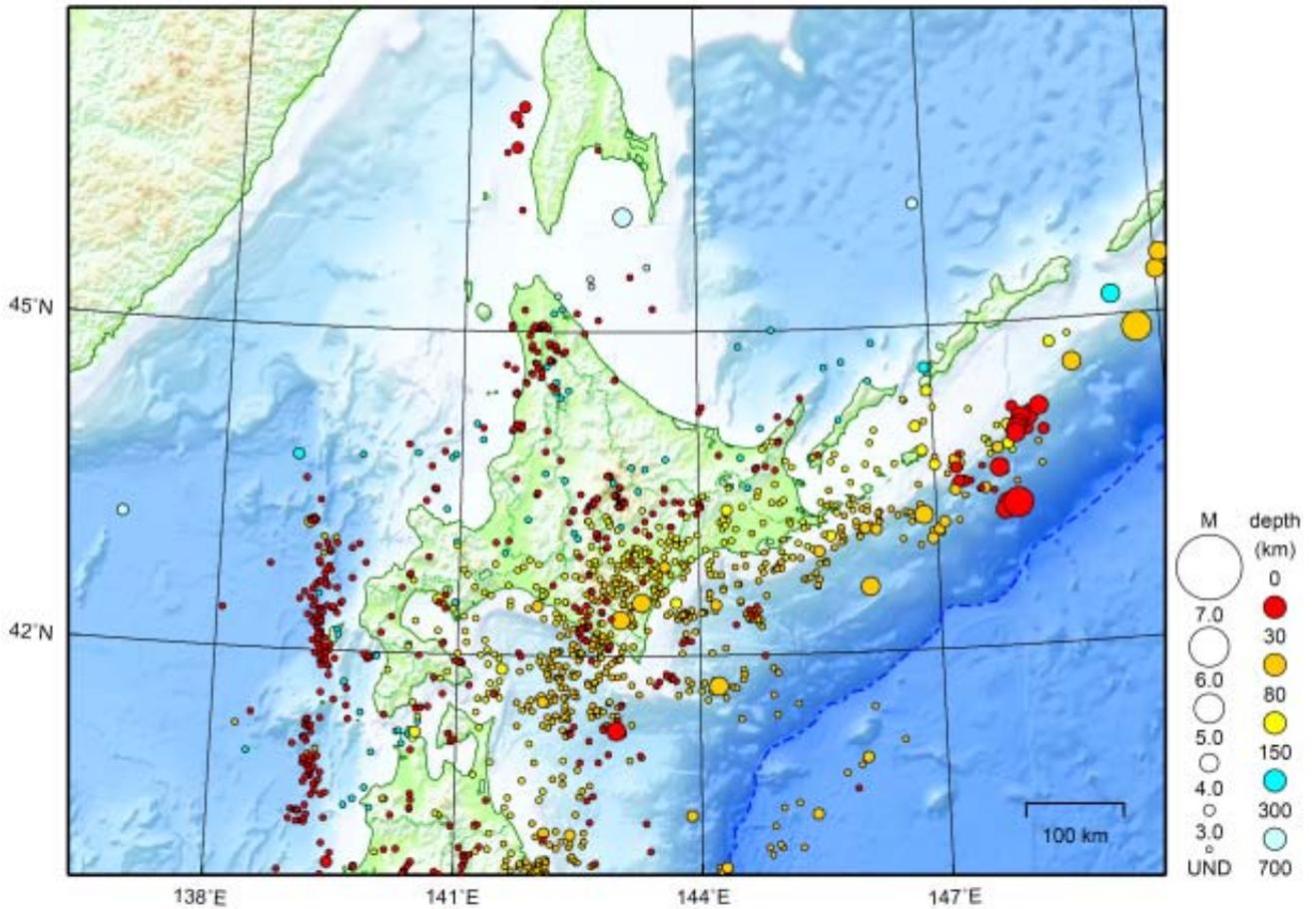


北海道地方

2008/07/01 00:00 ~ 2008/07/31 24:00

N=1495



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った活動はなかった。

(地図の範囲外)

7月6日にウルップ島付近〔千島列島〕で M6.1 (最大震度 1) の地震があった。

() は気象庁が情報発表に用いた震央地名

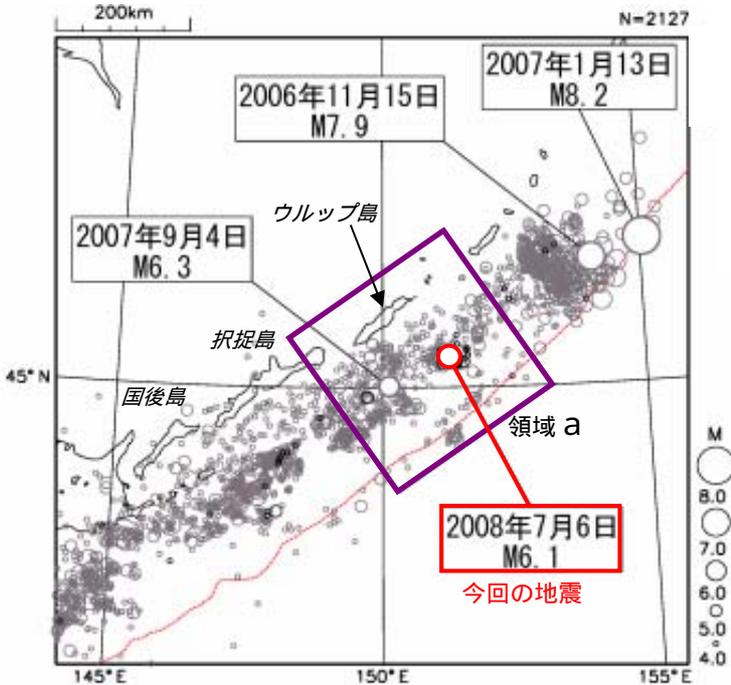
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

7月6日 ウルupp島付近〔千島列島〕の地震

[]内は気象庁が情報発表に用いた震央地名

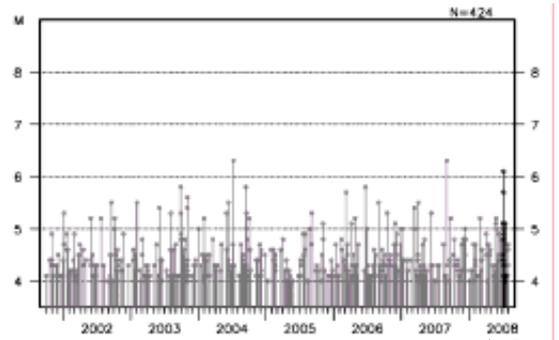
震央分布図(2001年10月1日~2008年7月30日
深さ0~200km、M 4.0)
2008年7月以降の地震を濃く表示



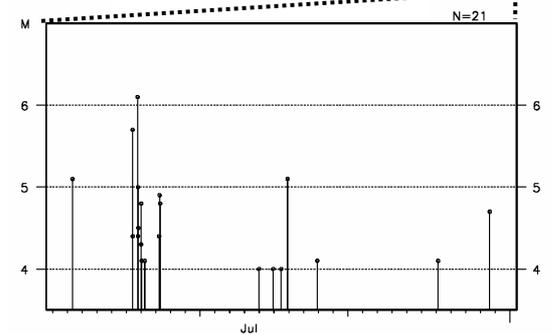
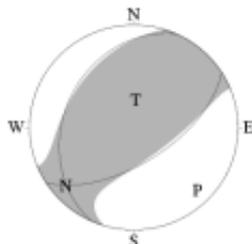
2008年7月6日18時08分にウルupp島付近〔千島列島〕でM6.1(最大震度1)の地震が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、プレート境界で発生した地震と考えられる。

2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近では、2007年9月4日にM6.3の地震が発生するなどM6.0以上の地震が度々発生している。

領域a内の地震活動経過図

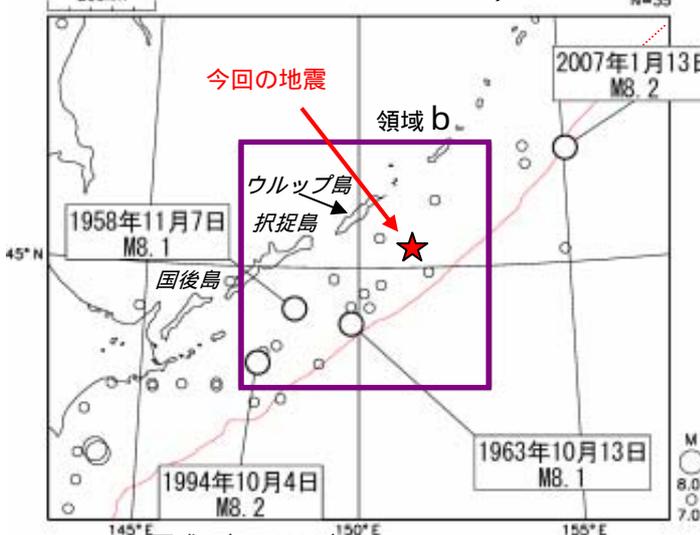


今回の地震の発震機構解(CMT解)



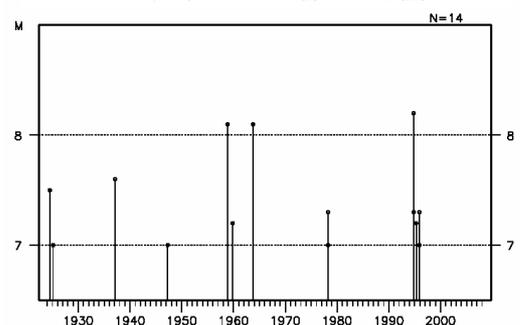
1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近では、M7.0以上の地震が度々発生している。最近では1994年10月4日にM8.2の地震(「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」、最大震度6)が発生し、北方四島で死者9名、行方不明者2名などの被害が生じている(理科年表による)。この地震により津波が発生し、根室市花咲で高さ168cmなど、日本の広い範囲で津波を観測した。

震央分布図
(1923年8月1日~2008年7月31日
深さ0~200km、M 7.0)

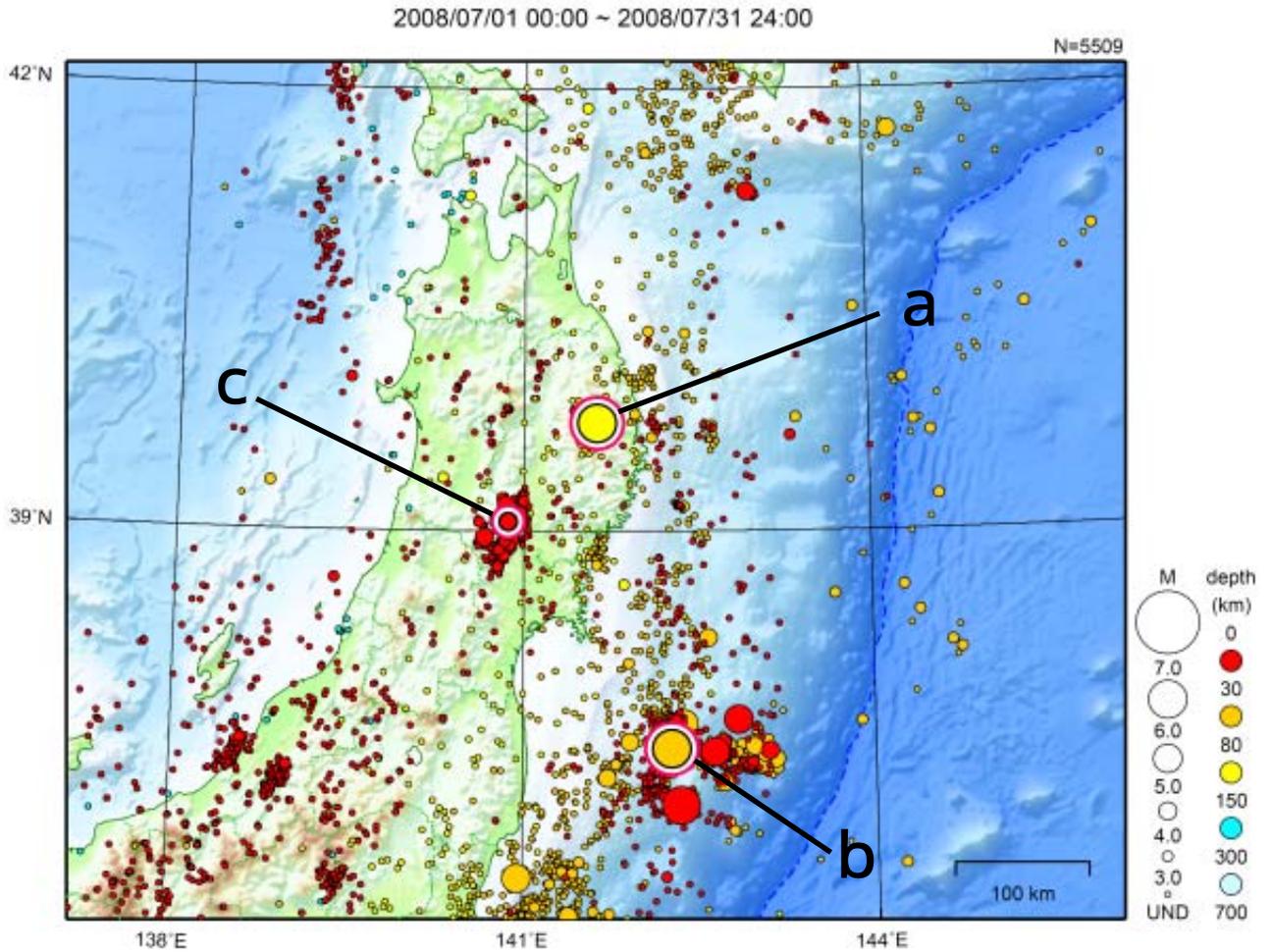


平成6年(1994年)
北海道東方沖地震

領域b内の地震活動経過図



東北地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

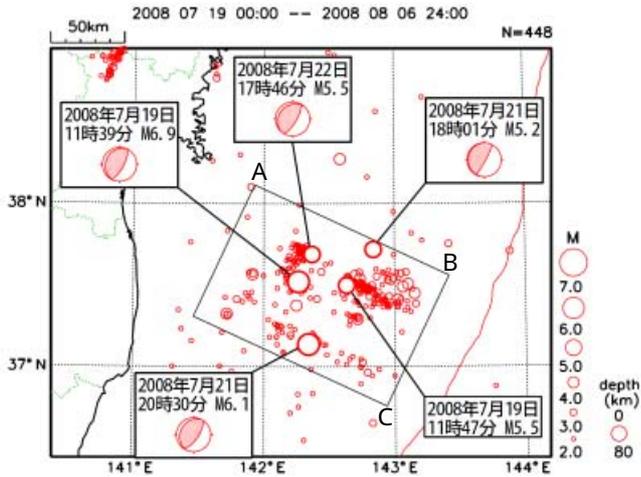
a) 7月24日に岩手県沿岸北部で M6.8 (最大震度6強) の地震があった。

b) 7月19日に福島県沖で M6.9 (最大震度4) の地震があった。

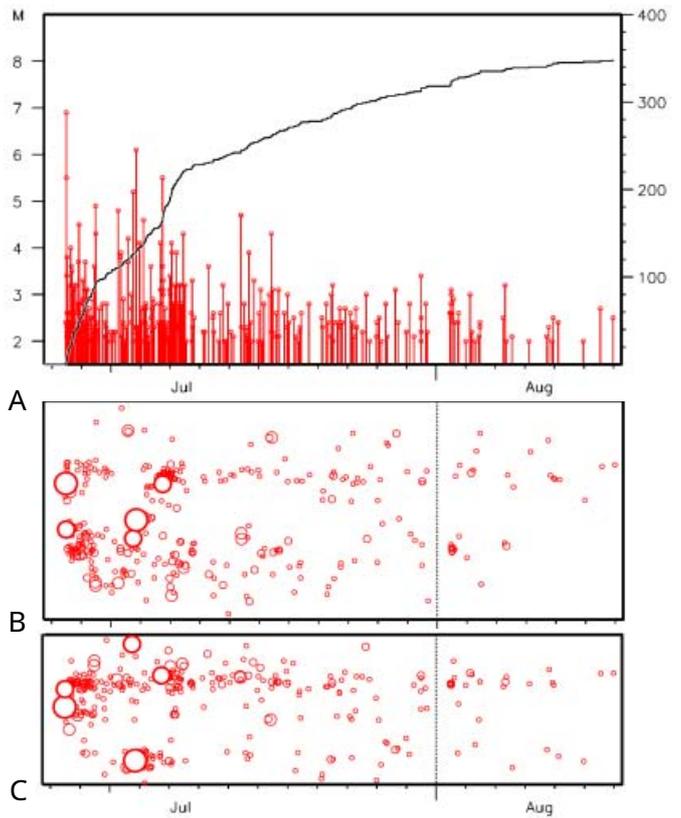
c) 7月29日に岩手県内陸南部で M4.6 (最大震度3、「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」の余震) の地震があった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上のいずれかに該当する地震。]

2008年7月19日福島県沖の地震活動

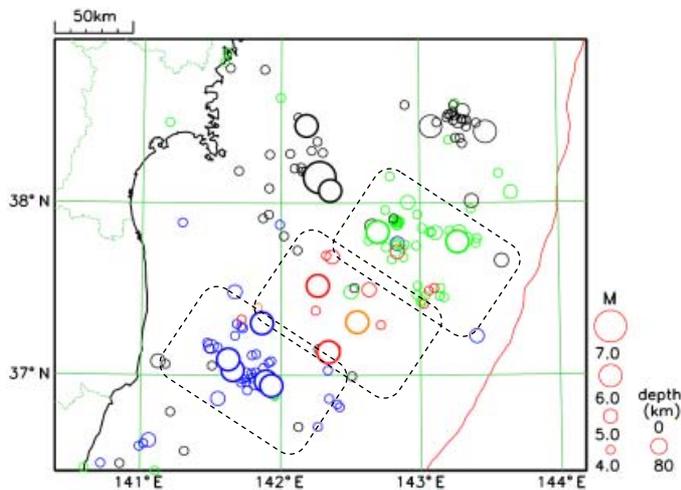


- ・ M6.9の本震を含む北西側（深い側）の領域と、その南東側（浅い側）及び、それらの南側の3つのクラスターが見られる。



過去の地震活動との震央比較

- ・ 最近では、1987年、2003年、今回2008年にまとまった活動があった。
- ・ それぞれ、震源域を棲み分けているように見える。
- ・ 1996年にM6.8の地震があったが単発で、メカニズムも低角逆断層型ではない。深さ58kmと深い。

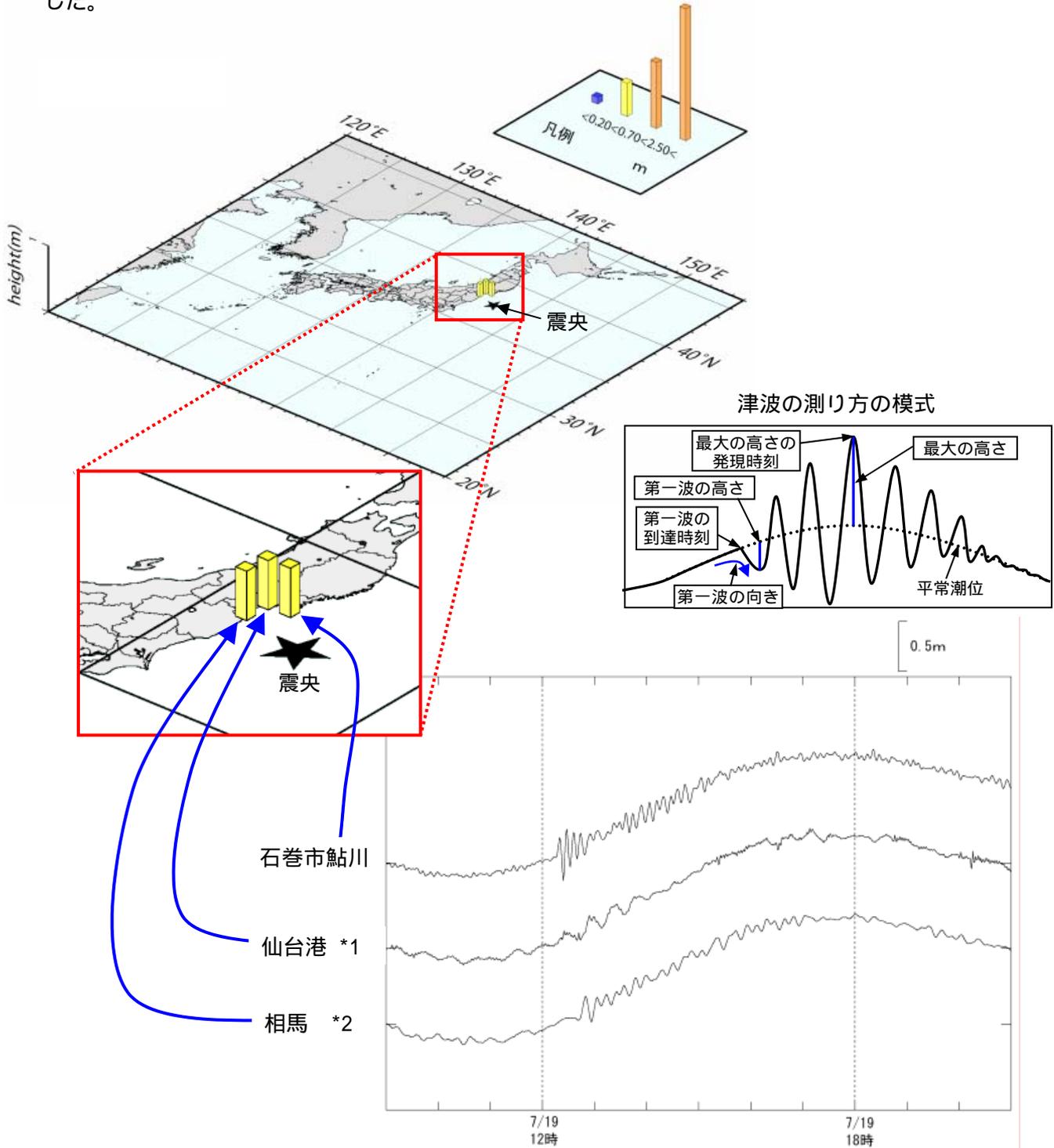


2008.7.19 (福島県沖、M6.9)
 2003.10.31 (福島県沖、M6.8)
 1987.2-4 (福島県沖、M6.7)

2005.8.16 (宮城県沖、M7.2)
 1996.2.17 (福島県沖、M6.8)

7月19日の福島県沖の地震による津波

今回の地震により、石巻市鮎川で津波の最大の高さ 0.2m など、宮城県と福島県の沿岸で津波を観測した。



今回の地震に伴って観測した津波の観測値

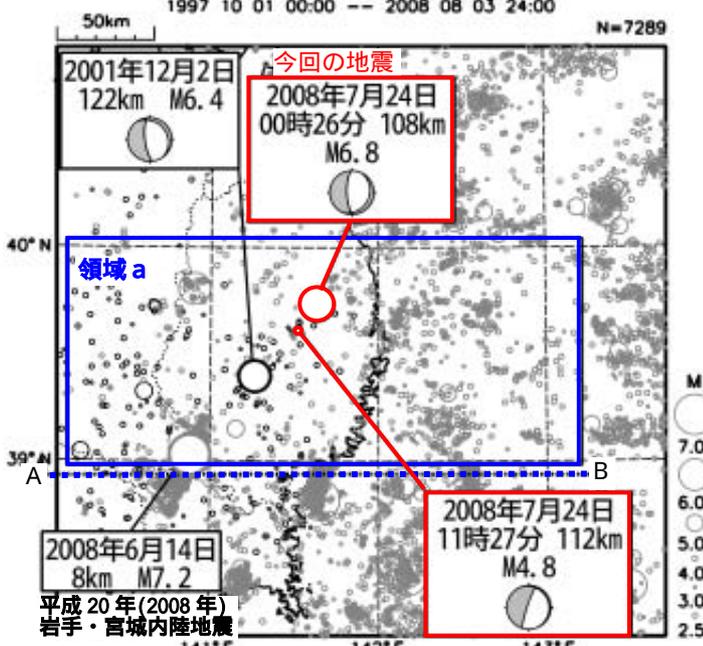
観測点名	第一波		最大の高さ	
	到達時刻	高さ(m)	発現時刻	高さ(m)
石巻市鮎川	12時16分	0.2	12時28分	0.2
仙台港 *1	12時23分	0.1	12時54分	0.2
相馬 *2	12時42分	0.2	12時52分	0.2

*1 仙台港は、国土交通省港湾局の検潮所である。

*2 相馬は国土地理院の検潮所である。

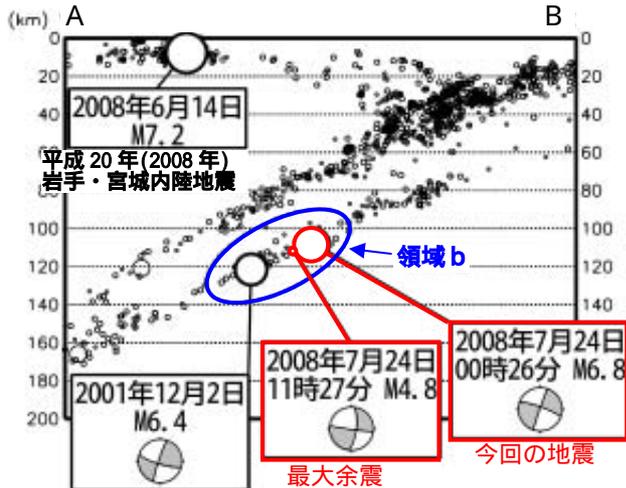
7月24日 岩手県沿岸北部の地震

震央分布図(1997年10月以降、M 2.5、深さ0~200km)



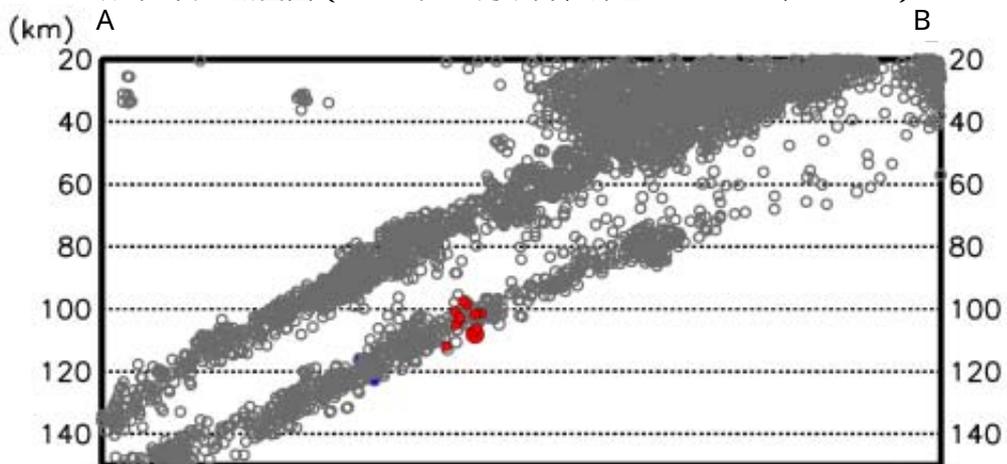
100km 以下の震源を薄く表示した。発震機構は全て CMT 解 (下半球投影) である。

領域 a 内の断面図 (A - B 投影)



発震機構解は断面図上に投影している

領域 a 内の断面図 (2001年10月以降、深さ20~150km、M 1.0)

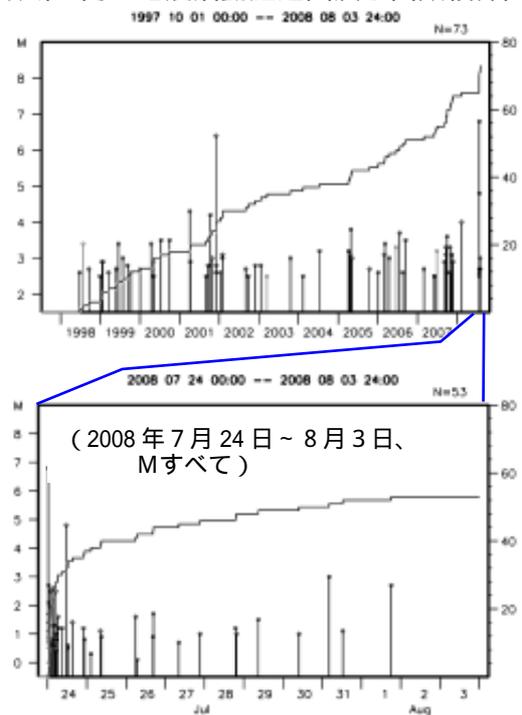


2008年7月24日00時~06時に発生した地震を で表示

2008年7月24日00時26分に岩手県沿岸北部の深さ108kmでM6.8(最大震度6強)の地震が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は太平洋プレートが沈み込む方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部(二重地震面の下面)で発生した地震である。最大余震は同日11時27分に発生したM4.8(最大震度3)で、活動は減衰している。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2001年12月2日にM6.4(最大震度5弱)の地震が発生している。

領域 b 内の地震活動経過図及び回数積算図



平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震の余震活動

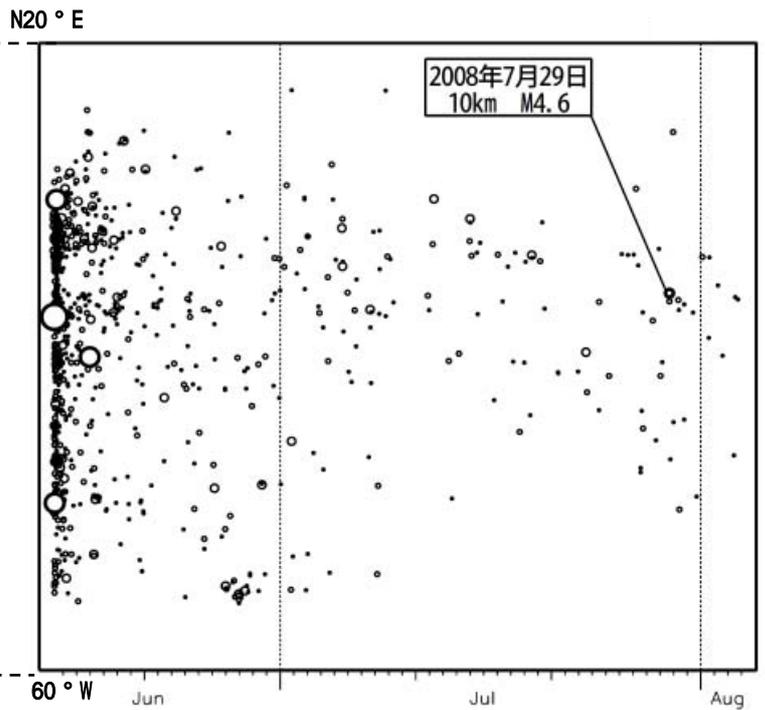
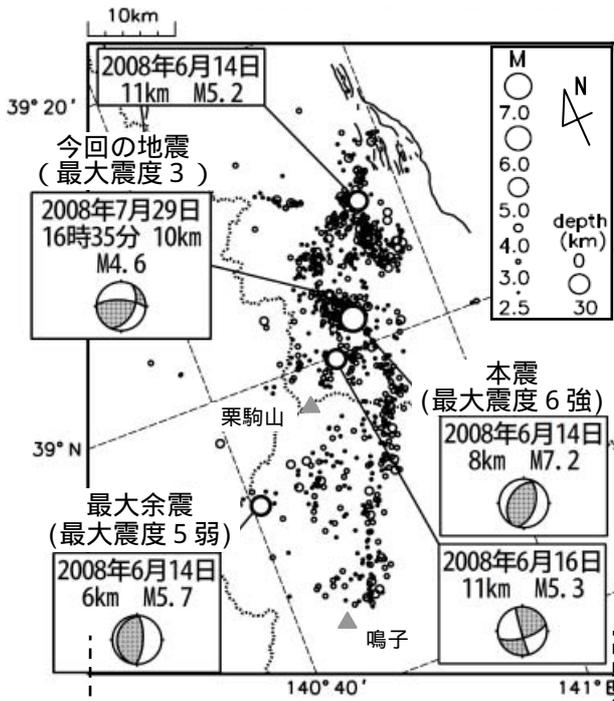
平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震 (M7.2) の余震活動は次第に減衰している。

7 月 29 日には本震の震源付近で M4.6 (最大震度 3) の地震が発生したが、余震活動に特段の変化はみられない。

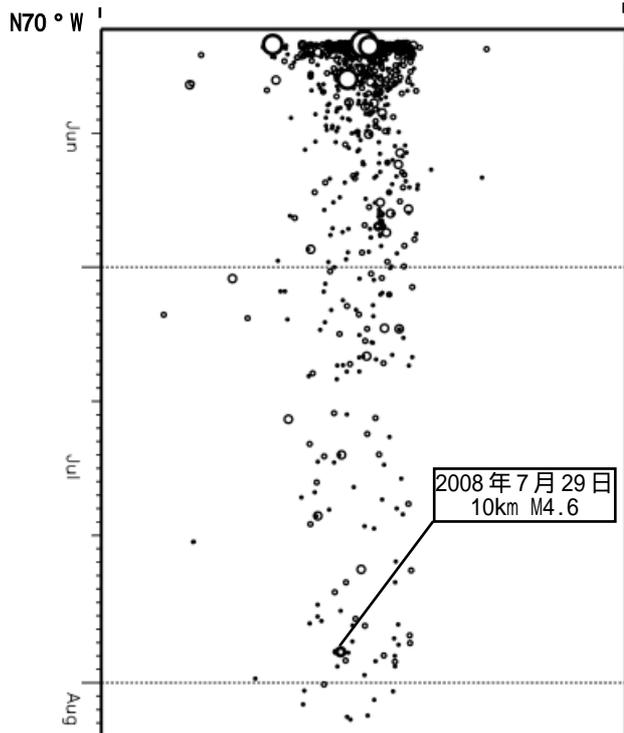
震央分布図

(2008 年 6 月 14 日 08 時 ~ 8 月 3 日 24 時、
M 2.5、深さ 30km 以浅)

左図の時空間分布図

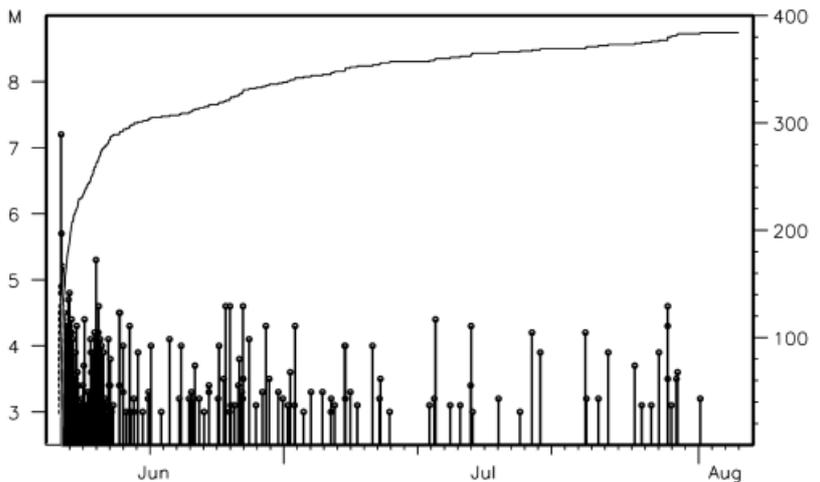


上図の時空間分布図



N110°E

左上図内の地震活動経過図及び回数積算図
(M3.0以上)



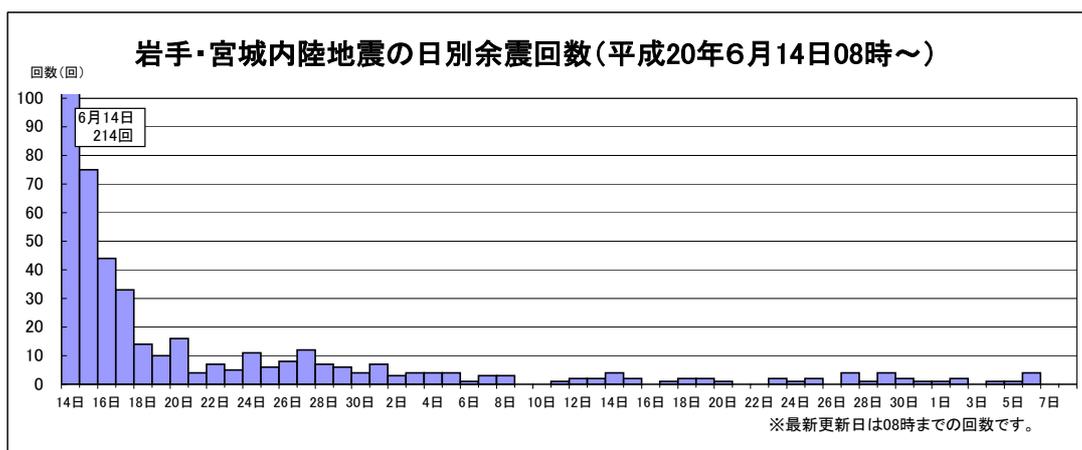
横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」の余震回数

震度1以上を観測した地震の最大震度別回数表（6月14日08時～、本震を除く）

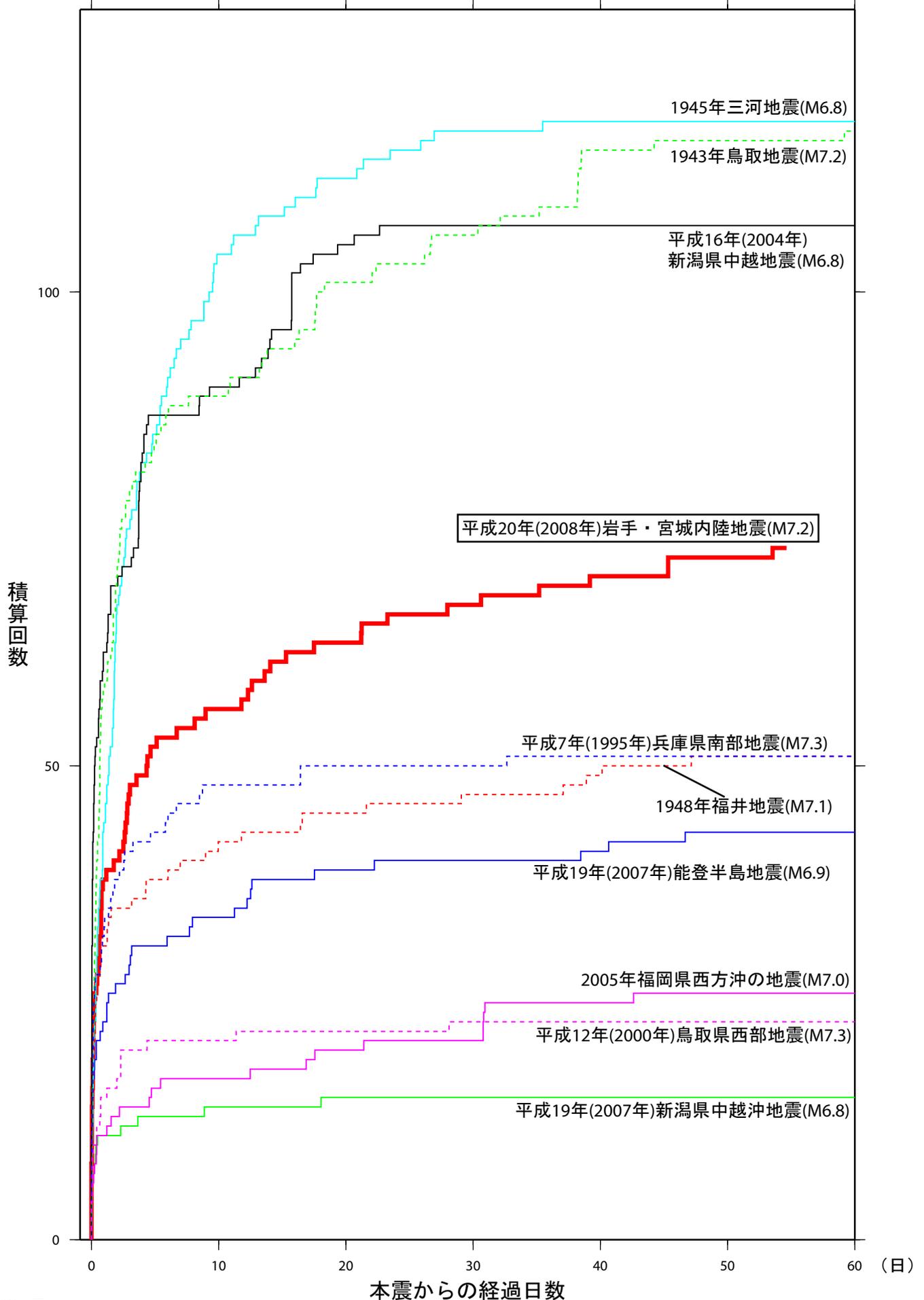
*この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがあります。

期 間	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計
6月14日	117	62	25	9	1					214	214
6月15日	55	14	6							75	289
6月16日	32	9	2	1						44	333
6月17日	19	11	3							33	366
6月18日	10	2	2							14	380
6月19日	8	2								10	390
6月20日	14	2								16	406
6月21日	3	1								4	410
6月22日	5	2								7	417
6月23日	4	1								5	422
6月24日	8	3								11	433
6月25日	5		1							6	439
6月26日	4	1	3							8	447
6月27日	7	2	3							12	459
6月28日	6		1							7	466
6月29日	4	1	1							6	472
6月30日	2	2								4	476
7月1日	5	1	1							7	483
7月2日	3									3	486
7月3日	4									4	490
7月4日	4									4	494
7月5日	2	1	1							4	498
7月6日	1									1	499
7月7日	2	1								3	502
7月8日	1	2								3	505
7月9日										0	505
7月10日										0	505
7月11日	1									1	506
7月12日	1	1								2	508
7月13日	1	1								2	510
7月14日	2	1	1							4	514
7月15日	2									2	516
7月16日										0	516
7月17日	1									1	517
7月18日	1	1								2	519
7月19日	1	1								2	521
7月20日		1								1	522
7月21日										0	522
7月22日										0	522
7月23日	1	1								2	524
7月24日	1									1	525
7月25日		2								2	527
7月26日										0	527
7月27日	4									4	531
7月28日	1									1	532
7月29日	1	1	2							4	536
7月30日	1		1							2	538
7月31日	1									1	539
8月1日	1									1	540
8月2日	2									2	542
8月3日										0	542
8月4日		1								1	543
8月5日		1								1	544
8月6日	2	2								4	548
8月7日										0	548
8月8日										0	548
計	350	134	53	10	1	0	0	0	0	548	08時まで



内陸及び沿岸で発生した主な地震の 余震回数比較 (マグニチュード4.0以上)

2008年08月07日24時00分現在



※本震を含む。

※この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがあります。

気象庁作成

岩手・宮城内陸地震のM度数分布比較

出店断層付近では、小粒の地震（M2～3）の数に比べて大きい地震の数が少ない。

